



MBニュース



【新物麻笥情報(続報)】

丸松物産株式会社

先月号では、中国産麻笥の新物状況について、弊社中国工場および各仕入先からの現地情報をまとめたものをご報告させて頂きましたが、今回、8月の生産シーズンに弊社貿易部員を現地に派遣させましたので、その内容を以下にて報告致します。

麻笥の生産ピークを迎えた8月上旬は、雨の降らない猛暑日が続いた為、タケノコの収穫量が昨年より約20%減と予想をはるかに下回り、原料価格も値下がる気配の無い状況となっていました。しかしながら現地の各メーカーでは、この状況はあくまでも一時的なものとして楽観視していました。

ところが8月中旬になると雨の日が連日続いてしまい、その影響で地表の温度が徐々に低下していった為、各メーカーの当初の予想に反して、タケノコの収穫量は増加せず、今後の収量も期待出来そうにない状況となっています。

そのような状況の中、日本向け規格のホール品の原料は年々減少しており、現地でのその原料取引価格はカット品用原料よりも約30%高騰しております。

今後、日本からの発注数量の内容によっては、ホール品缶詰の供給対応が難しくなる事が予想されますが、弊社と致しましては、常識的な範囲内で同製品の数量確保に努め供給して参りたいと考えますので、何卒この現状ご理解頂きたくお願いします。

【中国 1-7月の物価は安定 小売総額12.1%増加】

商務部(商務省)の沈丹陽報道官は18日に行われた定例記者会見で、今年1-7月の国内市場の運営状況を報告した。それによると、同期の消費市場は全体として安定的に運営され、消費者価格は基本的に安定し、社会消費財小売総額は前年同期比12.1%増加した。中国経済網が伝えた。

国家統計局がまとめた統計によると、同期の社会消費財小売総額は14兆4974億元(1元は約16円)で、同12.1%の増加だった。増加率は上半期の水準をほぼ維持し、前年同期との比較では0.7ポイント低下した。7月の増加率は12.2%で、物価上昇要因を考慮した実質増加率は10.5%。沈報道官は1-7月の消費市場の特徴として次の6点を挙げた。

- (1) 情報消費が急速に増加した。
- (2) サービス消費の需要が増加した。
- (3) 住居・自動車関連の消費が鈍化傾向をみせつつ安定に向かった。
- (4) 農村の消費が安定的に増加した。
- (5) 大・中規模の流通企業の売上が鈍化した。
- (6) 消費者価格が基本的に安定した。(編集KS)

「人民網日本語版」2014年8月19日より抜粋

【リニューアル品情報】

	商品名	中華春雨 1kg×10	盛付け例 	
	商品説明	9月からリニューアル品として生まれ変わりました！従来品と比べ和風テイストの甘酢味に仕上げております。常温で召し上がっても美味しいですが、冷やすと更に美味しく食が進む一品です。		
	主要原材料	春雨、きくらげ、にんじん		
	賞味期限	製造日より6ヶ月		
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がりください。		